



日本
山岳会

「高尾の森づくりの会」

第11回植樹祭



東日本大震災復興祈念！

2011年4月10日（日）

開会式会場：高尾の森ベース 集合時間：9:10

- 9:15 開会式 主催者挨拶、来賓挨拶、植樹の説明
- 9:35 記念撮影
- 9:45 班分け：A、B、C、Dの4班 （トイレタイム）
- 9:55 班ごとに植樹予定地へ （登り片道約1時間のハイキング）

植樹会場：小下沢国有林221林班 ほ小班（ザリクボ沢源流部、地図参照）

- ・ スタッフの指示に従い、ケガの無いよう植樹を行ってください。
- ・ 植樹終了後は自由行動となります。
（これまでの植樹地に足を運び自分が植えた木の成長を目で確かめられるのもお勧めです。希望者は各班のスタッフがご案内します。）
- ・ ベースでは、トン汁を用意してお待ちしています。展示コーナー・丸太切り体験コーナーも設けています。

お帰りのバスの時刻：「日影」バス停発・高尾駅行き

13:43, 14:13, 14:43, 15:13, 15:43

後援：関東森林管理局東京神奈川森林管理署

協賛：国土緑化推進機構、京王電鉄、ローソン（株式会社省略）

法人会員：NTT番号情報、アーバン、アサヒビール、アジレント・テクノロジー、
伊藤ハム、エリオニクス、河内屋、キヤノンマーケティングジャパン、好日山荘、
コニカミルタホールディングス、高尾登山電鉄、電源開発、パナソニックシステム
ソリューションズジャパン、日野自動車、フィット、富士電機システムズ、三越伊勢丹
ホールディングス、伊勢丹丹光会、伊勢丹丹麗会、メタウォーター

安全に快適に

——— 参加の皆さんへお願い ———

1. 受付を済ませて、木のネームプレートを受け取り、名前を書いて着けて下さい。
ネームプレートは、班分けの目印になります。
A 班—赤 B 班—青 C 班—黄 D 班—緑
2. ヘルメットはお貸ししますので着用して下さい。手袋のない方は受付でお受け取り下さい。
3. 現地への移動、植樹は班別に行動しますので、スタッフの指示に従って下さい。
(スタッフはバンダナを付けています。)
4. 昼食は現地でいただくことになりますのでお弁当を持って行って下さい。
ゴミは全て自宅まで お持ちかえりです。
5. トイレはこのベースの奥に設置しています。植樹会場にも簡易トイレあり。
6. 山道ではゆっくり間隔を取って歩き、谷側は崩れやすいので、なるべく山側を歩きましょう。
7. 植樹地は傾斜地です。石や丸太を落とさないように気を付けて下さい。落石があったら、大きな声で「ラク！」と知らせて下さい。上方で作業しているときは、下方に入らないように注意しましょう。
8. ケガをしたらスタッフに申し出てください。ベースには医療班が待機しています。
その他、わからないことがありましたら、スタッフにお尋ね下さい。

ご安全に！

会員募集中！

私たちは、「多様で豊かな森」の復元！を目指して
広葉樹の植樹や人工林の間伐に取り組んでいます。
あなたも、私たちの森づくりに参加して、一緒に汗を流しませんか。
入会案内、入会申込書は受付でお受け取り下さい。

みんなで植えよう！



私たちは長期計画を作成して森づくりに取り組んでいます。

50年、100年後に想いを馳せ、また、この度の震災の一日も早い復旧を祈り、心をこめて植えて下さい。

植える木は、26種、1,200本の広葉樹です。

オニグルミ、アカシデ、ヤマグリ、フナ、クヌギ、コナラ、ケヤキ、ハルニシ、ムクノキ、エノキ、ホウノキ、カツラ、ナツツバキ、ヤマザクラ、カスミザクラ、エドヒガン、ウワミズザクラ、イロハモミジ、オオモミジ、コハウチワカエデ、イタヤカエデ、トチノキ、ミズキ、ヤマボウシ、マメガキ、アオダモ



一人4～5本程度を植樹していただきます。

植える場所は、篠竹の立っているところ。

篠竹には木の名札が付いていますので、苗木の名札と一致させて植えて下さい。

苗木の根は乾燥が大敵です。直射日光に極力当てないよう気をつけて下さい。

植え付けの手順

- ① 篠竹を抜き、その位置に、深さ30cm程度の穴を掘ります。
- ② 穴の中に、苗木の根を広げて入れ、掘り出した土で埋め戻します。
埋め戻しのとき、落ち葉や小石は取り除いて下さい。
- ③ 苗木の根と土を密着させるため、苗木の根元を足でよく踏みしめます。
- ④ 抜き取った篠竹を苗木の根元にしっかり刺します。

植樹記念に木の名札に自分の名前を書き込んで、いつかまた逢いに来て下さい。

義捐金募集！

この度の東日本大震災で被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を祈念し、義捐金の受付を行います。

義捐金は、この植樹祭参加費を加算し、日本赤十字社を通じて被災地の方々に寄付させていただきます。皆様の暖かいご支援をお願いします。